

Dogushi

胴串 -どぐし-

Summer 2019

Vol.26

特集

期待高まる
4年ぶりの再演
人魚姫



制作：P.O.法人いいた人形劇センター TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail:itda-puppet@mits.janisor.jp

Docushi Vol.26 2019年7月発行 発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会

掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

せかいの劇場
Vol.8



ジョルディ・ベルトラン・カンパニー 「Visual Poems アルファベットの人形たち」

世界の優れた人形劇作品を鑑賞する「せかいの劇場」第8弾は、スペインからさまざまなアルファベットによって繰り広げられるオムニバス形式の作品がやってきます。世界で大人気の人形劇団です。お見逃しなく!

- チケット発売 / 8月19日(月)
- 日時 / 10月26日(土) 19:00開演
10月27日(日) 11:00開演
- 会場 / 飯田人形劇場
- 料金 / 前売り 大人 2,000円
子ども(3歳~中学生) 1,000円
おやこ 2,800円
※3歳未満無料、当日各300円増
- 問合せ / ☎050-3583-3594
いいだ人形劇センター

Dogushi

並木 さんぽ

本誌の創刊号から20回続いた連載「わかる人形劇用語」。人形芝居燕屋くすのき燕さんが“人形劇のあれこれ”について簡潔に紹介してくれました。連載が終了して一年半、このほど出版された『「パンチ&ジュディ」のイギリス文化史』という学術書の参考文献の欄に、本誌『Dogushi 胴串』のタイトルとともに、この連載名の表記が。とても光栄なのはもちろんですが、今後も気軽に読めて、ちょっと為になる誌面づくりを心掛けようと襟を正した次第です。

次号は10月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



飯田駅観光案内所の窓ガラスに描かれたかわいらしいイラスト。いいだ人形劇フェスタのマスコットキャラクター「ぼお」が、打上げ花火を見上げています。描いたのは同案内所のスタッフ。「この夏、飯田を訪れてくださる方々の目に留まればうれしいです」。

第6回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

春川 チュンチョン【韓国】

ヨーロッパを離れて、お隣・韓国の「春川」を紹介します。韓国東北部に位置するこのまちは「韓流」ブームの火付け役となったドラマ「冬のソナタ」のロケ地になったことでも有名です。毎年秋に行われている「春川人形劇祭」では、飯田に来る欧米の劇人さんとバッタリ会うことも多く、このまちが世界の人形劇の拠点の1つとなっていることがわかります。

春川は昨年AVIAMAに加盟したばかりですが、飯田と春川はフェスティバルどうしで交流を続けており、2008年には友好提携を結んでいます。東アジアの人形劇文化を支える良きライバルとして、これからも飯田と春川の交流が続いていくでしょう。ところで春川で有名な食べ物は鶏の焼肉「ダッカルビ」。焼肉のまちとしても飯田のライバル?



春川人形劇祭のメイン会場となる人形劇場。マスコットキャラクターの名前はCOCOBAU(ココバウ)。飯田のフェスで見かけたら、声をかけてあげてください!

いいだ人形劇フェスタ2019

いいだ人形劇センター
プロデュース
人魚姫

8月2日(金)

17:00 / 20:00
会場:飯田人形劇場
料金:大人 1,000円
子ども 500円
(3歳~中学生)

※観劇にはフェスタの参加証
ワッペンが必要です



人間の足をもらった人魚姫。歩くたび、踊るたびに感じる痛みや心の葛藤を、ましゅ&Keiの二人がナイフや布を使って表現します



人間になった人魚姫は憧れの王子と再会しますが…

姉たちが髪の毛と交換に魔女から手に入れたナイフを渡すシーン。人魚姫に決断を迫ります



人間になるため勇気を振り絞って
魔女のところへ行く人魚姫



人魚姫の15歳の誕生日をみんなが祝うシーン。今年2月、再演に向けてメンバーを募集し、4月に本格的な稽古が始まりました

特集
期待高まる
4年ぶりの再演

人魚姫

だれもが知るアンデルセンの物語『人魚姫』を、飯田下伊那の市民が人形劇にして上演したのが4年前。いいだ人形劇フェスタ2015では、市民によるこれまでにない本格的な舞台作品と話題を呼び、チケットは完売に。その後、再演を望む声が寄せられる中、新たなメンバー構成で今夏、幕が再び上がります。

「もう一度お願いします」。セリフの言い回し、人形の動かし方など一つのシーンを繰り返し返し稽古するメンバーたち。その表情から作品にかける真剣さが伝わってきます。

学校や仕事帰りに集まり稽古ができるのは週2回、平日の夜2時間ほど。限られた時間の中、約60分の作品をつくり上げるのは並大抵のことではありません。演出の人形芝居燕屋くすのき燕さんは「再演とはいえ、新しく作品を1本作っていると言っている。だから前回参加してくれたメンバーたちの存在がとても心強い。課題はいくつもあ

るけれど本番までにはクリアしてくれと信じています」と激励します。

新たに参加した顔ぶれには、いいだ人形劇センター主催の講座参加者も。「初級コースでつくった作品を上演するうちに演じることが楽しくなってきました。ちょうど再演の話聞き、参加しました。少しでも経験を積んで次の作品づくりにいかしたい」と話す女性2人のユニット「エリユリ」の木下絵利さん、佐藤友里さん。

市民がつくり、市民が演じる『飯田発の人形劇』を市民が盛り上げ、楽しみましょう。



人形芝居燕屋くすのき燕さん(写真右から3人目)による演技指導。セリフの言い回しだけでなく、人形の目線や歩き方、立ち位置など細かい指導が入ります

わくわく イベントスケジュール

いいだ人形劇フェスタ 2019

7月31日(水)~8月5日(月)

人形劇公演

●初物 売出し中! ~H30初級講座作品~

7月31日(水) 13:30

会場/川本喜八郎人形美術館2F映像ホール

出演/なががた座、ENGI家 喜隣、くまこや一座

●いいだ人形劇センター×今田人形座共同制作「ゆきをんな」

8月1日(木) 19:00 会場/飯田文化会館ホール

小泉八雲「雪女」を伝統人形芝居と現代音楽とで表現

企画展

●ITOプロジェクト

糸あやつり人形芝居「高丘親王航海記」人形展

8月1日(木)~9月2日(月)

会場/川本喜八郎人形美術館3Fスタジオ

わたちゃんのダンボールしまいワークショップ

頭づくり 9月8日(日)、21日(土) 10:30

毎の練習 10月6日(日)、10月19日(土) 10:30

会場/川本喜八郎人形美術館エントランス前

料金/頭1体400円

ダンボールで獅子頭をつくり、舞を練習10月20日開催の「創作獅子舞コンクール」に出場

人形劇定期公演

5月よりお休みしていましたが9月より再開します。

地元市民劇団の連続公演をお楽しみに。大好評のポイントカード実施中!観劇1公演につき1ポイントゲット。3ポイント集めると水引指人形、プロ劇団公演の優待観劇などの特典があります。

開催日程/9月中旬、10月下旬、12月中旬

会場/飯田人形劇場

私の「暑い、熱い、飯田」との出会い。

● しんくんシアター 横山 慎司

私が、「いいだ人形劇フェスタ」にデビューしたのは、2009年の事。それまでも、仲良くして貰っている人形劇人の皆様方より、幾度となく、「しんくん、飯田においでよ?」と、誘われていたのですが、「また、機会があったらね?」と言って、重たい腰を上げないでいました。でも、そこまで誘うのなら、一回、試みに参加してみようか?と思いき、200



飯田市公民館前で撮影した、栃木の劇人仲間と新聞記者さん(写真右から2人目が筆者)

第15回 すべての道は 飯田へ通ず



飯田デビュー公演での一コマ

9年の夏、いつも仲良くして貰っている、栃木の「アトリエびつき」さんにお願として、「アトリエびつき」さんとのジョイント公演という形で、いいだへデビューしました。

その初めての飯田での上演は、「飯田創造館」。しかも、いっぱいのお客様、おまけに新聞社の取材付き。そんな最高の環境の中で公演させて頂き、その時点ですっかり飯田の魅力にハマってしまいました。今では8月は、「暑い、熱い、飯田へ!」行くというのが、自分のライフスタイルの一つになっています。そして、これからも、自分の身体が続く限り、「暑い、熱い、飯田へ!」お邪魔したいと思っています。

皆様、今年も飯田でお会いしましょう!

次号は、「手風琴」の酒井利幸さんです

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から②

世界人形劇フェスティバル88飯田・人形劇カーニバル'88飯田 総合ガイドブック 人形劇カーニバル飯田・10周年記念号

1988年は飯田の人形劇に大きな変換をもたらせた。フランスのシャルビル・メジエール市との友好都市提携もここからだ。その88年はUNIMA大会を名古屋で開催、続く飯田の世界人形劇フェスは、カーニバルの10回目と併催であった。縦長の変形のガイドブックだが、海外26、国内90ほどの劇団の上演があり、学生の参加が多いことや、郵便切手、テレカ、キャラメル、腕時計、アイスクリームに煙草などピンテージもの記念グッズも並び、広告掲載店舗の盛衰も、いろいろな「飯田」が見え興味深い。この年、飯田人形劇場が出来、サントリー地域文化賞、モービル児童文化賞のW受賞もあった。「あれから30年…」の飯田は何を残すだろう。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



両実行委員会 1988
26x12.5cm



90周年記念の人形展示
(チェコセンターギャラリー内)

海外レポート

ウニマ90周年 in プラハ

日本ウニマ理事
いいだ人形劇センター事務局長 木田 敬貴



会議の様子(写真右から2人目が筆者)

今年にはウニマが90周年の記念の年です。6月6日から8日までプラハで記念のイベントが開催されました。私は今回、日本ウニマを代表して参加し、「ウニマが日本の人形劇においてどのような役割を果たしてきたか」というテーマでプレゼンをしてきました。しかも英語で。ちょうどプラハでは4年に一度開催されるPQ(Prague Quadrennial)舞台芸術の見本市でも関連のトークショーがありました。7日にメインの会議がチェコ文化省内の一室で朝9時から15時30分までありました。ウニマのこれまでの役割、20世紀においてどのように発展し、21世紀にどのようなビジョンが必要なのかを話し合いました。「ウニマの創立から20世紀半ばまで」、「1957年以降のウニマ大会の再開」、「20世紀の発展と21世紀に向けてのビジョン」と3つのセッションに分かれて、各4名のスピーカーがありました。私は日本とウニマとのかわりにつ



PQ(Prague Quadrennial 舞台芸術の見本市)の会場内



90周年記念人形劇公演。パンチ、ブルチネラ、カシュパーレクなどが登場した

いて、フェスティバルを中心に振り返りました。概要は次のとおりです。日本で最初に始まったのは、1959年に旭川で開催された北海道人形劇フェスティバルです。ウニマ50周年を記念して1979年にアジア・太平洋国際人形劇祭典が東京で開催されました。そして1988年にアジアで初めてとなるウニマ大会が日本で実現しました。会議は名古屋、フェスティバルを名古屋、飯田、東京の三か所で実施しました。このように日本は常にアジアのなかで最も早く世界との交流を深めてきました。

飯田はちょうど人形劇カーニバル10周年。世界人形劇フェスティバルは飯田をアピールするよい機会となりました。さらに人形劇場の設立、シャルビル・メジエール市と友好都市提携したとても重要な年でした。ここから飯田が名実ともに「人形劇のまち」として大きな一歩を踏み出したきっかけになったのではないのでしょうか。

※ウニマとは国際人形劇連盟の略称。国際組織で1929年にプラハで設立。各国にセンターがあり、日本にも代々木に日本ウニマがある。9月にはシャルビル・メジエールの国際人形劇フェスティバルに合わせてウニマ90周年の大きなイベントが予定されている

※ウニマ大会とは4年に1度開催される国際会議と人形劇フェスティバルの総称



ウニマ会議集合写真



©桜映画社 / 川本プロダクション

人形アニメーション連続上映!

8月18日(日) 飯田市川本喜八郎人形美術館では、平成22年8月23日に逝去した川本喜八郎を追悼して、川本 の 作品を連続で上映します。

※上映作品・時間はお問合せください

川本喜八郎追悼特別企画

折口信夫 作 川本喜八郎 監督

『死者の書』上映・解説会

民俗学者・折口信夫の小説『死者の書』は、折口の古代研究のエッセンスが詰まっていると評価されています。折口はこの小説で何を表現したかったのか、そして、川本喜八郎監督の人形アニメーション『死者の書』の表現意図は何だったのか。わかりやすい講演と映像鑑賞を通して探ります。

8月18日(日) 13時30分～16時50分

講演 13:40～15:10

「折口信夫『死者の書』の趣意」

講師:小川直之 國學院大學教授、
柳田國男記念伊那民俗学研究所長

映像上映 15:20～16:30

人形アニメーション『死者の書』
(川本喜八郎の遺作)

意見交換 16:30～16:50

会場 / 飯田市美術館 講堂
料 金 / 500円(資料代)
問合せ / ☎080-5108-7487
柳田國男記念伊那民俗学研究所
☎0265-23-3594
飯田市川本喜八郎人形美術館



頭にバンダナ、お気に入りの前掛け…いつもの仕込みスタイル!

いいだ人形劇フェスタ2019で上演する『貧乏神と福の神』



になりそうです(笑)。
作品は日本の昔話をモチーフに毎年発表。音楽以外は自分で作りますので、操作し易い様、人形には新しい試みを取り入れ表現の可能性を追求しています。とは言え試行錯誤の連続:イメージの視覚化にいつも四苦八苦させられます。
この世界に入り様々なノウハウやスキルを学びました。今、改めてそんな教えを反芻します。何を表現したいのか、どうすれば伝わるのか、客観的になるのは難しい事です。が、一人になったからこそ、俯瞰して物事を捉えられる様な掛けたいと思っています。年齢と上手く付き合ひながら、そして時々『喝』を入れながら、これからも頑張りますので機会があったら観てくださいね!



突撃!!

人形劇のゲン・バ Part 22

古墳の宝庫といわれる飯田市内で、伊那谷の古代史を題材にした人形劇をつくるプロジェクト「伊那谷タイムトラベラーズ」がスタートしました。古墳見学や古代を想像して絵を描いたり、ストーリーをつくるなど、1500年前の世界へ思いをはせる様子をおさえるべく「ゲン・バ」へ直行しました!

1回目(6/22)の講座は長野県考古学会会長・小林正春さんの解説を聞きながら飯田市内の古墳めぐり。横穴式石室に入り、中の様子も見学しました(座光寺 高岡第1号古墳)

1500年前の古代へタイムスリップ!



3回目(7/7)の講座は黒姫童話館館長・北沢彰利さんと一緒にストーリーづくりに挑戦しました



2回目(6/23)の講座は人形師・沢 則行さんの指導で、古代の伊那谷を想像しながら子ども大人も全員で絵を描きました



前方後円墳の上からまわりの景色を眺め、1500年前の伊那谷を想像しました(竜丘塚原二子塚古墳)

伊那谷タイムトラベラーズの4回目は8月10日(土)13:00を予定しています。問合せ / ☎0265-23-3552 飯田文化会館

全人協通信
専門人形劇団事情⑨

地域劇団のつづやき

人形芝居ぶんぶく
幾田美恵子

山あり谷あり:だからオモシロイ!

アンサンブルから一人芝居に転身して早二年。色々ありましたがひとりでの活動にも慣れ、まずまず予約もいただき安堵しています。現在は、9月下旬に発表の新作・第三回作品「カミナリさまがおこちた!」の仕込みの真最中!ねじり鉢巻で人形・舞台の製作に追われる毎日です。
ひとりになって一番感じたのは体調管理(現在寅年の57歳。勿論覚悟はしていましたが、特に三学期は上演が重なりますのであの手のこの手で疲労回復に努める始末。舞台上に照明音響と、機材もソコソコ重いため筋力の低下を思い知らされました。さすがに年齢には抗えませんが、以後、身体のメンテに抜かりありませんが、おかげで健康オタク

一般社団法人
全国専門人形劇団協議会(全人協)
人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることめざし、1997年に発足。51劇団が加盟しています。